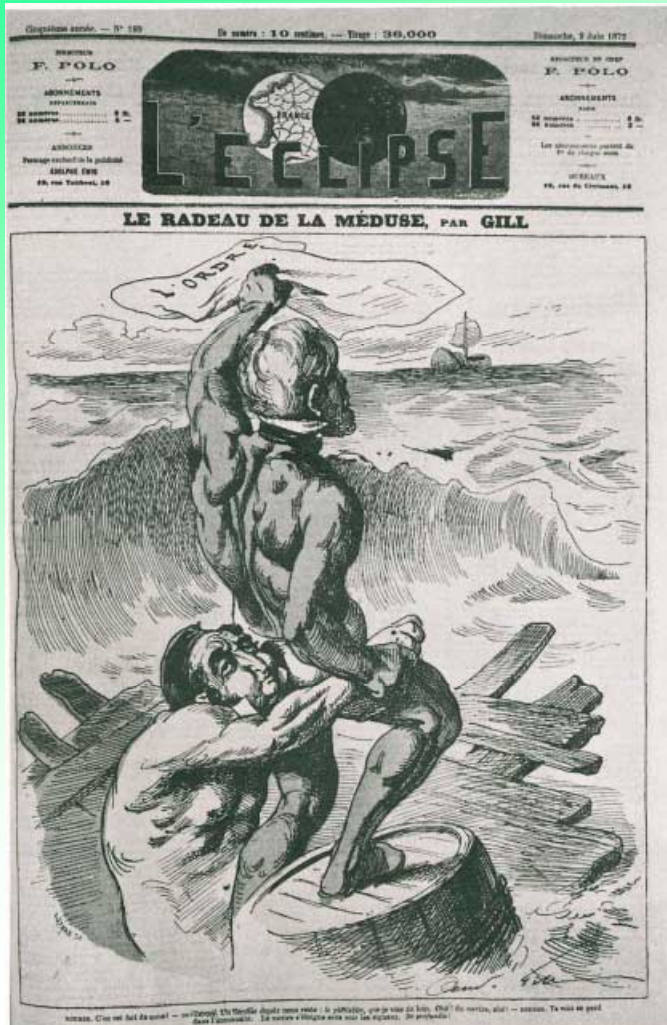
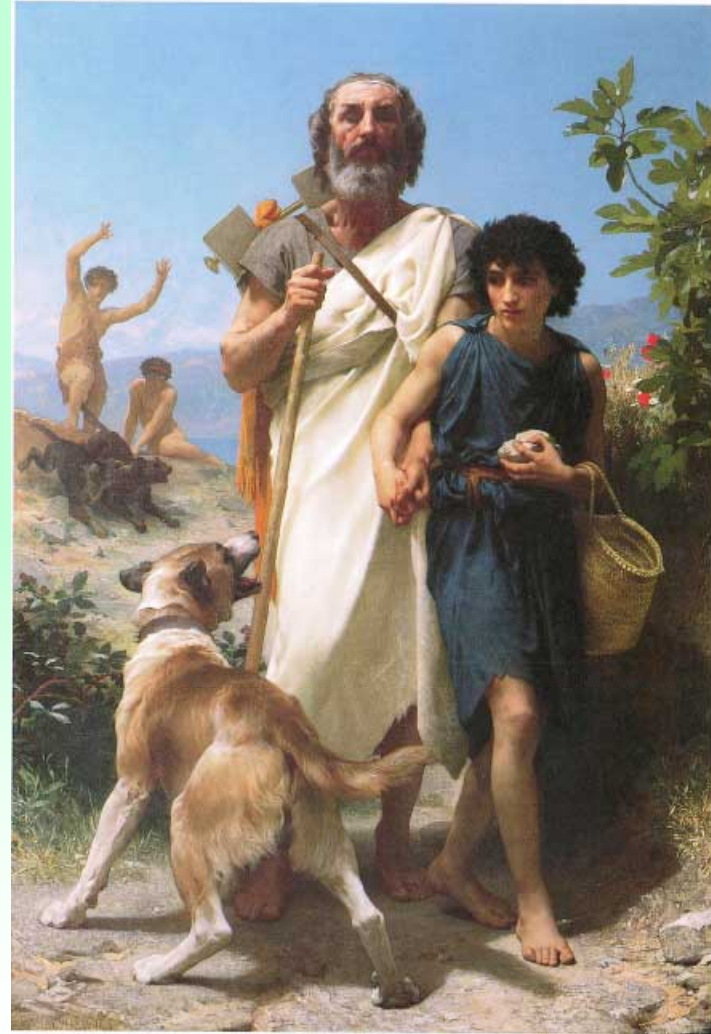


普仏戦争後にマスメディアに現れた愛国的主題





ランソン
《列になった死体》1874年



ブーグロー
《ホメロスとその導き手》1874年



レルミット 《収穫》 1874年



マネ 《鉄道》 1873年



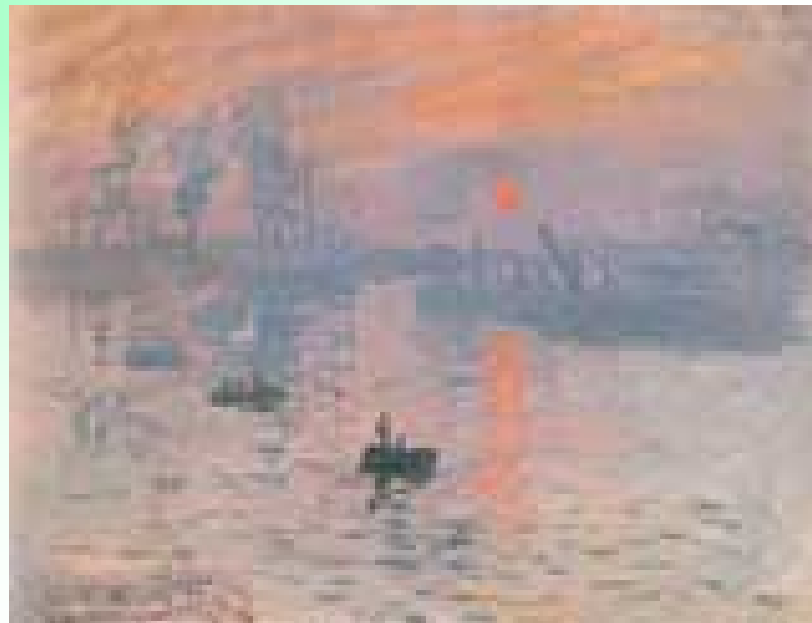
《印象 日の出》



北斎《武陽、佃島》

名古屋市美術館開館20周年記念
クロード・モネ 《印象・日の出》展
Claude Monet, Impression, Sunrise
12月23日(火・祝)～2009年2月8日(日)

パリのマルモッタン美術館が所蔵するクロード・モネの《印象・日の出》は、第一回印象派展に出品され、「印象派」の名前の由来となった作品として広く知られています。印象派の里程標ともいえるこの作品が近代美術に果たした役割、モネの全画業における位置づけを探るとともに、ルノワール、セザンヌ、ピサロなど、他の作家の作品も併せて展示し、印象派の広がりそれぞれの作家の個性の輝きを紹介します。



モネ 《印象・日の出》1873年 マルモッタン美術館